

令和4年度 中村地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

コロナ禍3年目に突入し、地域内のサロン活動や高齢者食事会等も再開の目途が立っておらず、夏祭り等の地域行事も中止、延期、縮小を余儀なくされているが、感染予防対策を講じた上で少しずつ地域行事が再開されてきている。コロナ禍においても、地域の新たな社会資源づくりや防災に関する会議等は活発に行われている。地域課題としては、高齢化率が進み、独居高齢者も増加傾向にあり、人情味あふれる中村地区の地域住民同士の互助、共助関係の維持、発展に向けた取り組みが必要となっている。子ども、高齢者、障がい児・者が安心して暮らせる地域づくり、小さな輪を大きな輪へ上げて行くための後方支援を継続して行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	年齢層を限定しない企画を実施し、初来館者を含め、多くの地域住民に来館していただく。 ・障がい者作業所の出張パン販売 ・おうち時間を楽しむ自主事業の企画 ・春、夏、冬休みの子ども講座開催 ・障がい児余暇支援事業の継続 ・多世代が参加できる事業の企画 等
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区社協主催の子育て広場へ参加し、主任児童委員と課題を共有したり、小中学校のPTAとの関係性を構築して、子ども向け企画、親子参加型の企画を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護で困っている方々が参加しやすいよう、平日ではなく土曜日に開催日を設定して参加者を増やす。 また、介護技術講座や介護予防講座を介護者サロンと同じ日に開催することにより、適切な介護や知識を学べる場の提供を行い、参加者のニーズに応える。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍において、サービスB、ちょこっとお助け隊、協議体等の後方支援を臨機応変に実施する。 ・サービスBの継続支援 ・ちょこっとお助け隊の後方支援 ・協議体の継続と発展、自主化。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍において、改めて各自治会が抱えている地域課題の把握から始めて行く。個別ケースについては、共有が必要なケースが発生した場合は、その都度会議の開催を検討して行く。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

「コロナ禍でも出来ること」をテーマに、感染防止対策を講じた上で様々な事業を実施しました。圏域内にある作業所との連携しパン出張販売会を年間を通して継続しました。7月には中村地区社協との共催で3年ぶりに「七夕フェスタ」を、10月にはおもいやりカンパニー、中村地区センターとの共催で「ハロウィンパーティー」を開催し多くの子ども達が来館しました。地域住民が主体となった協議体として閉店した店舗を活用した「中村今昔写真展」も複数回開催し大盛況でした。介護者サロン、ケアoff会も継続し多くの参加者があり活発な意見交換等が行われました。インフォーマルサービスとして、おもいやりカンパニーによるサービスB、ちょこっとお助け隊による草むしり活動等の後方支援も継続して実施しました。山谷地区において、包括支援センターによる出張相談会の定期開催も開始し、地域課題に関する意見交換や地域ケア会議も開催しました。今後も小さな輪を大きな輪へ上げていくための後方支援を継続して行きます。

区からのコメント

コロナ禍で引き続き活動の制限がある中、様々な工夫をしながら地域活動に寄り添い、できることから支援をされています。実際に職員が地域に足を運ぶことで、小さな活動の目を見逃さず捉え、黒子となって活動支援を行っています。時にそれが大きな活動へつながることもありました。また、組織内でも常に情報共有を図り、連携して活動を行うことで、漏れのない重層的な支援につながっています。これら一つ一つは基本的な取組内容ですが、それを継続していくことで、着実な成果や地域からの信頼につながっていると感じます。今後もより良い地域づくりのため、着実に取組を進めていただきたいと思います。

# 令和4年度中村地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>相談者の状況を踏まえつつ、制度や資源について分かりやすく説明し、複数の選択肢を提示します。選択肢の提示の際には、横浜市発行の情報誌「ハートページ」を活用し、さらに各事業者パンフレットや公的機関による公開情報を加え分かりやすく説明します。利用者及び家族の希望に沿った事業所の選択をお手伝いします。</p> <p>利用者が自己決定にて選択したサービス提供事業者についても、利用者が望むサービスを受けられないと考えるときには、ご本人の意思により契約を解消し、新たなサービス提供事業者を選択可能である事を説明します。</p>	<p>令和3年度に発生した事故(介護事故、個人情報漏洩)の事例から学び、職員の研修を適切に実施し、事故防止や個人情報保護に関する意識を高めリスクを減らします。</p> <p>ヒヤリハット報告、職場内での情報共有に取り組み、大きな事故を未然に防止します。</p> <p>区内、市内で起きた事故等の情報を共有し、同様の事故を起こさないよう職員に注意喚起します。</p> <p>万一事故等が起きてしまった場合には、適切に対処するとともに区、市へ速やかに報告し、その後の再発防止に向けた取り組みを着実に実施します。</p>
実績	<p>コロナ禍において、相談者の状況を考慮しながら迅速な対応を心掛け、出張相談会も定期的に行いました。「ハートページ」やケアプラザにて収集した情報を活用し、相談者の希望に沿ったサービスや事業所を選択できるように丁寧な説明を行いました。</p>	<p>令和4年度は、大きな事故は発生しませんでした。軽微な事務処理ミスが数件発生しました。ミス発生時には、内容を速やかに区へ報告し、所内全部署で情報を共有する等、適切な対応を実施しました。事故防止に向けて、個人情報の取り扱いに関する研修を実施する等、リスクの減少に努めました。</p>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>利用者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるよう、利用者自身の選択に基づいて予防支援計画(予防プラン)を作成します。</p> <p>心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう「心身機能」「活動」「参加」等に配慮してプラン作成をします。</p>	<p>利用者に対し、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づいて居宅サービス計画(ケアプラン)を作成します。</p> <p>作成した計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整を綿密に取ります。</p>
利用料金・実費負担	ご利用者負担はありません	ご利用者負担はありません
職員体制	<p>主任ケアマネジャー(管理者) 1名 看護師 1名 社会福祉士 1名 予防プランナー 1名</p>	<p>主任ケアマネジャー(管理者) 1名 ケアマネジャー 5名</p>
契約者数	154名	132名

令和4年度「横浜市中村地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,692,475	564,393	21,256,868	21,256,868	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	353,900	△ 353,900	
雑入	10,560	0	10,560	19,380	△ 8,830	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	10,560		10,560	10,560	0	
その他			0	8,830	△ 8,830	
その他			0		0	
収入合計	20,703,035	564,393	21,267,428	21,630,158	△ 362,730	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	14,460,669	0	14,460,669	9,894,579	4,566,090	
本俸	8,682,019		8,682,019	7,494,249	1,187,770	
社会保険料	1,406,302		1,406,302	973,322	432,980	社会保険料
手当計	4,230,372		4,230,372	1,337,380	2,892,992	賞与・通勤交通費他
健康診断費	10,000		10,000	654	9,346	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	131,976		131,976	88,974	43,002	市社協退職共済
その他	0		0	0	0	
事務費	1,700,000	0	1,700,000	1,661,683	38,317	
旅費	12,000		12,000	13,314	△ 1,314	旅費
消耗品費	155,000		155,000	118,539	36,461	事務用品・清掃用品他
会議随費	10,000		10,000	14,260	△ 4,260	会議費
印刷製本費	70,000		70,000	84,421	△ 14,421	カンター料金
通信費	180,000		180,000	194,550	△ 14,550	電話料金・郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	27,000		27,000	18,576	8,424	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	7,431	△ 7,431	
振込手数料	0		0	440	△ 440	
リース料	71,000		71,000	76,737	△ 5,737	リース料
手数料	780,000		780,000	767,013	12,987	手数料
地域協力費	4,000		4,000	2,608	1,392	地域協力費
その他	330,440		330,440	353,234	△ 22,794	社協会費・広報誌掲載費・印紙代他
事業費	250,000	0	250,000	582,083	△ 332,083	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	250,000		250,000	582,083	△ 332,083	
その他	0		0	0	0	
I C T整備費（追加）	0	199,985	199,985	199,985	0	
I C T整備費（追加）		199,985	199,985	199,985	0	
オンライン相談機器整備費（追加）	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）		0	0	0	0	
サニタリーボックス（追加）	0	10,000	10,000	7,488	2,512	
サニタリーボックス		10,000	10,000	7,488	2,512	
管理費	3,837,806	0	3,837,806	4,212,404	△ 374,598	
光熱水費	1,587,429		1,587,429	1,779,968	△ 192,539	
清掃費	1,512,709		1,512,709	1,370,557	142,152	
機械警備費	155,330		155,330	156,244	△ 914	
設備保全費	582,338	0	582,338	583,662	△ 1,324	
空調衛生設備保守	285,533		285,533	285,333	200	
消防設備保守	24,747		24,747	24,747	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	19,036		19,036	19,036	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	253,022		253,022	254,546	△ 1,524	
共益費			0	0	0	
その他	0		0	321,973	△ 321,973	
修繕費	474,000		474,000	828,408	△ 354,408	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	20,722,475	209,985	20,932,460	17,386,630	3,545,830	
差引	△ 19,440	354,408	334,968	4,243,528	△ 3,908,560	

自主事業費 収入	0	0	0	353,900	△ 353,900	
自主事業費 支出	250,000	0	250,000	582,083	△ 332,083	
自主事業 収支	△ 250,000	0	△ 250,000	△ 228,183	△ 21,817	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入

令和4年度「横浜市中村地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,222,000	0	25,222,000	25,222,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,480,000	0	5,480,000	5,480,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	25,300	△ 25,300	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	10,560	0	10,560	50,560	△ 40,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	40,000	△ 40,000	
その他	109,957		109,957		109,957	
収入合計	30,976,517	0	30,976,517	30,931,860	44,657	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,909,181	0	27,909,181	22,944,488	4,964,693	
本俸	15,140,000		15,140,000	13,968,225	1,171,775	
社会保険料	3,484,000		3,484,000	3,094,590	389,410	社会保険料
手当計	8,851,181		8,851,181	5,472,037	3,379,144	賞与・通勤交通費他
健康診断費	26,000		26,000	20,285	5,715	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	408,000		408,000	389,351	18,649	市社協退職共済
その他	0		0	0	0	
事務費	870,000	0	870,000	1,172,319	△ 302,319	
旅費	10,000		10,000	18,739	△ 8,739	旅費
消耗品費	60,000		60,000	51,203	8,797	事務用品・清掃用品他
会議ठीい費	5,000		5,000	0	5,000	会議費
印刷製本費	70,000		70,000	84,421	△ 14,421	カンター料金
通信費	537,440		537,440	664,204	△ 126,764	電話料金・郵送料他
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	35,640	△ 35,640	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	27,000		27,000	18,575	8,425	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	7,496	△ 7,496	
振込手数料	0		0	550	△ 550	
リース料	50,000		50,000	79,857	△ 29,857	リース料
手数料	0		0	125	△ 125	手数料
地域協力費	0		0	0	0	地域協力費
その他	100,000		100,000	200,949	△ 100,949	社協会費・広報誌掲載費・印紙代他
事業費	1,044,000	0	1,044,000	651,936	392,064	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	60,000		60,000	12,990	47,010	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	143,510	10,490	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	200,000		200,000	54,436	145,564	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他			0	0	0	
管理費	1,016,776	0	1,016,776	1,122,973	△ 106,197	
光熱水費	433,000		433,000	473,156	△ 40,156	
清掃費	380,000		380,000	364,323	15,677	
機械警備費	41,290		41,290	41,532	△ 242	
設備保全費	162,486	0	162,486	155,199	7,287	
空調衛生設備保守	75,900		75,900	75,900	0	
消防設備保守	6,578		6,578	6,578	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	5,060		5,060	5,060	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	74,948		74,948	67,661	7,287	
共益費			0	0	0	
その他			0	88,763	△ 88,763	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	30,965,957	0	30,965,957	26,017,716	4,948,241	
差引	10,560	0	10,560	4,914,144	△ 4,903,584	

自主事業費 収入	0	0	0	25,300	△ 25,300	
自主事業費 支出	414,000	0	414,000	210,936	203,064	
自主事業 収支	△ 414,000	0	△ 414,000	△ 185,636	△ 228,364	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市中村地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,637	5,128	509	5,001	4,290	711	40,993	34,395	6,598			0			0
	その他	0	60	-60	0	0	0	1	2,523	-2,522	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	雑収入			0			0	1		1			0			0
	補助金事業収入		60	-60			0		2,458	-2,458			0			0
	受託事業収入			0			0		65	-65			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>5,637</b>	<b>5,188</b>	<b>449</b>	<b>5,001</b>	<b>4,290</b>	<b>711</b>	<b>40,994</b>	<b>36,918</b>	<b>4,075</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費	1,957	2,190	-233	0	0	0	30,092	26,994	3,098			0			0
	事務費	135	3,303	-3,168	0	0	0	1,922	2,953	-1,031			0			0
	事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0
	管理費	0	0	0	0	0	0	1,043	0	1,043			0			0
	その他	3,704	2,634	1,071	3,230	3,155	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,704	2,634	1,071	3,230	3,155	76			0			0			0
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
その他			0			0			0			0			0	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>5,796</b>	<b>8,126</b>	<b>-2,330</b>	<b>3,230</b>	<b>3,155</b>	<b>76</b>	<b>33,057</b>	<b>29,947</b>	<b>3,110</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	<b>収支(A)-(B)</b>	<b>-159</b>	<b>-2,938</b>	<b>2,779</b>	<b>1,771</b>	<b>1,135</b>	<b>635</b>	<b>7,937</b>	<b>6,972</b>	<b>965</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ぽっかポカランド	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援事業。地区社協との共催。	3:養育者及び乳幼児	5	地域で子育てしている養育者に対し保育士や主任児童委員が相談にあたり、遊び方の指導支援をおこなう。月1回、年12回開催予定。	9	115
2	へいらくひよこ	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援事業。地区社協との共催。	3:養育者及び乳幼児	5	地域で子育てしている養育者に対し保育士や主任児童委員が相談にあたり、遊び方の指導支援をおこなう。月1回、年12回開催予定。	10	98
3	子育て広場イベント	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ラウンジ利用だけでなく、児童生徒にもつとケアプラザに親しんでもらうために。	3:養育者及び乳幼児	5	クリスマス、春祭りなど、通常の子育て支援に変化を求め、より多くの子供たち(主に未就園児)が集うイベントをおこなう。年2程度開催予定。	0	0
4	七夕フェスタ	平成19年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子ども向け企画及び多世代交流推進のため、主催は地区社協、ケアプラザは共催として後方支援を行う。	4:子ども・青少年	5	全貸館部屋を利用して、小物作品作り、ゲームや手遊びなど、子供だけでなく親子でも楽しみの場になるようなプログラムを行う。例年7月(年1回)に開催予定。	1	204
5	ハロウィンイベント	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	NPO法人おもいやりカンパニーとの共催。園域内の小学校(石川小、中村小)や園児、未就園児向けの季節行事として開催。地域住民もボランティアとして参加して、多世代交流を図る。	4:子ども・青少年	5	ハロウィンパーティとして様々な仮装をして楽しむ、館内各部屋を飾りつけ楽しむ、また子供たちの作品などを展示する。	1	320
6	障がい児余暇支援「みんなで遊ぼう音楽遊び」	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい児の居場所提供。保護者のレスパイト。地域住民によるボランティア育成。	2:障害児・者	5	ボランティア、地域住民の協力による学齢障害児の余暇支援活動の実践。年4回開催予定。	6	90
7	四季の会	平成19年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	四季の会、地区社協、民生児童委員会との複数共催。地域住民(主に高齢者)の食事会。	1:高齢者	5	地域の高齢者や支援対象者にむけた食事会を開催し交流する。四半期に1回、年4回の開催を予定しているが、コロナ禍により活動を休止している。令和4年度の開催は未定。	0	0
8	よこはまシニアボランティアポイント講習会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動者(担い手)の発掘、育成。	1:高齢者	5	シニアボランティアポイント制度に関する講習会を開催しポイントカードを発行する。半期に1回、年2回程度を予定。コロナ禍により多人数での開催は難しいため、少人数でも開催する。	1	12
9	手芸サロン	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手指を動かすことで脳トレを目指す。サロンとして広く開放することから、自由に参加できる環境づくりも目指している。	1:高齢者	5	様々なあまり布を利用して一連の作品作成等を手段とした頭の健康教室を実施していく。	12	114
10	サロン花もよう「出前講座」	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域サロンへの後方支援として実施。ケアプラザ職員による講習会や、外部講師の紹介等により、活動支援していく。	1:高齢者	5	花もようの年度計画により、必要とされるテーマを打合せ内容を決めて実施予定。年2〜3回開催予定。	3	53
11	フラワーアレンジ講座	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	季節に合った花を扱い講座を通して、新たな参加者層の集客を狙う。	5:地域	1	季節に合った花をアレンジして「ミニブーケ作り」等を開催、年数回開催予定。	2	34
12	ポーセリン講座	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	オリジナルのデザインで食器類を創作し、子どもから高齢者まで誰もが参加できる多世代交流が目的。	5:地域	1,4	カップ、皿等の食器類に様々な模様を付けてオリジナル食器を創作する。年数回開催予定。	2	34
13	ウクレレ・トグループレッシン講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍で増えた「おうち時間」を楽しむこと、楽器の演奏を覚える楽しみを地域住民に提供し、将来的な自主化を目指すことが目的。	5:地域	1	Aコース(初心者)Bコース(中級者)クラスに分けて1コマで2レッスン開催。4月から2月2回に開催予定。次年度以降の自主化に向けた準備も進めて行く。	10	294
14	和みギャラリー	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	館内の壁面スペース等を活用し、随時開催とする。貸館利用団体や近隣小学校等、多様な年齢層の作品展示を通して、広くケアプラザに親しんでいただく狙い。	5:地域	1,2,4	中村地域ケアプラザ館内の壁面スペース等を活用し、作品展の開催、個人団体の作品、自主事業の様子などを行う。随時開催予定。	0	0
15	中村歴史よもやま話	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域を知る、横浜や中村地区の歴史を知ることによって地域に親しみや愛着を持つこと、また、男性が参加しやすい事業とすることが目的。	5:地域	1,4	横浜や中村地区の歴史に関連するテーマを決めて、座学やフィールドワークを実践し、学びの場とする。年数回開催予定。	0	0
16	アロマ講座	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で増えた「おうち時間」を豊かにするための講座。季節に合ったアロマオイルを使用して、地域住民の癒しの場とすることが目的。	5:地域	1	アロマを使用したマスクブレー講座等、コロナ禍という社会情勢も考慮した事業を展開して行く。年数回開催予定。	2	28
17	ゆったりストレッチ講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナフレイル予防を目的として、地域の高齢者の健康を維持する。	1:高齢者	5	毎回講師を招聘し、骨盤底筋ケア等、高齢者に負担が少なく安全なストレッチを行う。月2回開催予定。	24	311

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	なかむらケアスクール	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者世代をメインに、新たな人材発掘も目的とした年間プログラム。また、介護予防事業も盛り込むことで、比較的若い世代からの介護予防への意識づけも視野に入れている。	5:地域	1	膝痛予防、口腔ケア、栄養講座、介護保険に関する勉強会等の内容を予定。年6回開催予定。	3	29
19	生涯学習 中村塾	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	生涯学習を通じてあらゆる分野(介護保険・介護予防・権利擁護・終活・老後に必要な知識等)を連続講座で学ぶプログラムを展開する。塾感覚で気軽に参加し、参加者相互の関係づくりと地域の担い手を視野に入れる。	5:地域	1	多数の参加者見込まれるため、昨年度同様にコロナ感染予防対策として、Aクラス、Bクラスの2クラスに分けて実施する。各クラス年間4回開催予定。	4	76
20	脳トレウォーキング事業	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者のコロナフレイル予防を主目的として、坂の上(唐沢地区)、坂の下(中村地区)の2ヶ所で開催する。また、参加者同士の交流も目的とする。	1:高齢者	5	毎月第1、第3(月)に中村地区(中居公園)、毎月第1、第3(火)に唐沢地区(唐沢公園)にて開催予定。但し、熱中症対策のため夏季期間は休止する。	34	542
21	司法書士・行政書士無料相談会	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対し、権利擁護の意識付けと総合相談窓口の周知に向けて、土業職と連携しながら実施する。	5:地域	1	司法書士・行政書士の協力を得て、個別無料相談会を実施。1組に対し1時間の相談時間枠を設ける。年2回程度開催予定。	2	11
22	中村地区ボランティアちよこっとお助け隊	平成28年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民によって構成された草むしり、木の剪定を中心とした活動を行うボランティア団体。地域住民同士の互助、共助関係の構築。(事務局、後方支援はケアプラザ)	5:地域		園域内の独居高齢者を中心に草むしり、木の剪定の対応を行う。有償ボランティアとして活動(1人1時間500円)。コロナ感染予防、夏季の熱中症対策を実施しながら活動を行う。	51	117
23	障がい者作業所パン出張販売会	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	園域内に所在する障がい者作業所「へいへいほー」のパン出張販売会をケアプラザで開催(月1回~2回程度)。地域住民の買い物支援と地域内の福祉拠点連携の一環として情報共有も兼ねて開催する。	5:地域		毎月第2水曜日12:30より情報ラウンジで販売を開始。販売はへいへいほー職員1名と就労障がい者1~2名が担当。	13	172
24	コーヒー講座	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍で外出機会が減少した地域住民の「おうち時間」を充実させるための講座。幅広い世代の参加を促進させる。	5:地域		コロナ対策を講じた上で、年2回程度開催予定。	2	18
25	中村今昔写真展(協議体:カメラ大作戦)	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	店主の認知症進行が原因で閉店した「喫茶カメラ」を活用した企画。地域住民を中心として事業を展開し、中村地区の昔の写真展を開催し、コロナ禍で希薄になった交流の場をつくる。協議体として発足している。	5:地域		認知症普及啓発と地域の新たな社会資源づくりを目指して、年に2回~3回程度、カメラを活用した写真展等を開催予定。	9	283
26	ケアoff会(介護者サロン)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	現在介護をされている方や介護経験者が集まり、ピアカウンセリングを中心とした交流の場を設けることを目的とする。また、介護負担の軽減、虐待の予防を図る。	5:地域	1	仕事や介護・家事等で参加が出来ない方々を中心としてzoomを活用したサロンを展開。年6回開催予定。	6	71
27	こころゆったりサロン	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でひとりで過ごす時間が増えたことから、地域住民が気軽に集まれる場を提供し、物作りを楽しむサロンとする。	5:地域	1	「ハーバリウム箸置きづくり」、「ハーバリウムボールペンづくり」等、毎回違うものをつくる。年2回~3回開催予定。	0	0
28	ケアマネジャー向け勉強会	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	協力医と園域内で活動するケアマネジャーとの顔の見える関係性を作り、ケアマネジャーのスキルアップを図る。	6:事業者	5	Zoom等のオンラインも活用しながら、2ヶ月に1回実施する予定。協力医の協力も得ながら、実際の事例を通じた意見交換等を行う。	4	43
29	いきいき中村地区の集い	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中村地区社協主催。中村地区の高齢者が、元気で長生きできることを願いつつ、コロナ禍のストレス軽減・安らぎと相互交流をはかる。	1:高齢者	5	中村地区社協が中村連合18町内へ数名参加者を招待する形式で開催。令和3年度は演目「マジックショー」「コグニサイズ(認知症予防体操)」「津軽三味線演奏」。令和4年度の内容は検討中。	1	50
30	子ども工作教室(夏休み、冬休み)	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休み、冬休み等の長期休暇中に子ども達のあそびを提供、「自由工作」支援する。	4:子ども・青少年	5	令和4年度の内容は検討中。工作等を中心に、主に小学生が参加しやすい事業を企画する。	2	40
31	「スマホカメラで楽しもう」講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	スマホカメラで写真を撮る楽しみを知り、地域や家族との交流を深める。地域・友人・家族との交流の幅を広げるためのツールを活用する。高齢者のスマホ活用のスキルアップも目指す。	5:地域	1	主に初心者対象にスマホカメラの基礎的な使い方を学ぶ。参加者自身のスマホを使って花など被写体を撮影し講師のアドバイスを受け、楽しみながら交流を図る。フィールドワークも行う。年数回開催予定。	1	8
32	裁縫講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手先を使う事で脳トレに良いとされるお裁縫を楽しみながら、地域の方向士が集まるコミュニケーションの場とする。	1:高齢者	5	講師を招聘し、日常的に使える眼鏡ケースや保険証ケースを各自が好きな生地で作成する。年数回開催予定。	1	10
33	中村地域ケアプラザ出張相談会 上山谷	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	園域内のケアプラザから遠方に位置するエリアへ向き、介護保険制度・成年後見制度・介護予防等に関する講座を開催し、各制度への理解と相談窓口対応職員と住民の交流を図ることを目的とする。	5:地域	1	町内会館等を利用して、各種講座や相談会等を実施する。年数回開催予定。	9	87

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	八聖殿辻説法	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	男性に人気がある歴史を学ぶ講座。各種講座への参加率が低い男性参加者の増加を目的とする。また、新規来館者の増加も目的とする。	5:地域	1	八聖殿郷土資料館職員を招へい。鎌倉時代のトピックスの講話で歴史を学ぶ。	2	67
35	絵手紙体験	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍で増えた「おうち時間」を楽しむことと、絵を描くことによる脳トレも兼ねた講座。初心者にも絵手紙作成を体験してもらい、上手下手に関わらず、楽しく教わったり褒めあったり、絵を通しての交流を図る。	5:地域	1	貸館登録団体「磯村会」の方をボランティア講師として協力を頂き、実施に絵手紙を描く。年数回開催予定。	2	12
36	ウクレレライブ	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍の抑制が続く生活を送るなかで、感染予防対策を講じて、心地よい時間を提供し参加者のストレス解消につなげる。	5:地域	1,4	プロとして活躍している若手女性ウクレレ奏者を招聘し、6月にコンサートを開催予定。	1	24
37	下山谷出張相談会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	圏域内のケアプラザから遠方に位置するエリアへ出向き、介護保険制度・成年後見制度・介護予防等に関する講座を開催し、各制度への理解と相談窓口対応職員と住民の交流を図ることを目的とする。	5:地域	1	民生委員宅を利用して、各種講座や相談会等を実施する。年数回開催予定。	1	6
38	山元町郵便局相談会	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが何をする施設なのかの役割周知を、養沢地域ケアプラザと合同で行う	5:地域	1	エリア住民の生活圏内である、中区の商店街にて、中村地域ケアプラザ、養沢地域ケアプラザの合同パンフレットチラシを配布する。	1	1
39	サービスBに関する情報交換会	令和元年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	NPO法人おもいやりカンパニーによるサービスBの活動について、圏域内で活動しているケアマネージャーと意見交換や情報共有を行い、活動の発展、充実化に繋がて行く。	1:高齢者	5	サービスBを提供する側と利用する側、各々の立場からの意見を出し合い、相互理解を深めて行く。年に数回開催予定。	1	12
40	認知症サポーター養成講座	平成23年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対して認知症についての理解、見守りの輪の普及啓発を行う。	5:地域	1,4	地域の小学校、施設等に対しキャラバン・メイトとともに講座を開催。	3	91